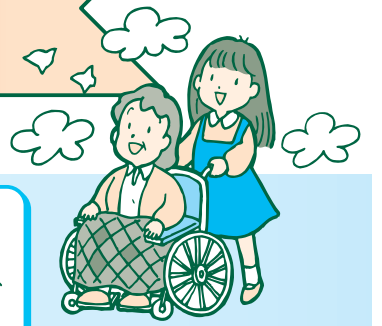
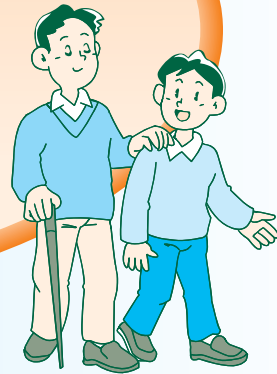


「いのちの教育」では、山形の人・自然・社会の中で、
「いのち輝く人間」を育てることをめざします



「いのち輝く人間」の姿

- 自分のいのちを大切にし、いのちいっぱい生きる
- 他のいのちにも思いをはせ、大切にする
- 人や社会の役に立ちたいと一生懸命努力する
- 自然に学び、その恵みに感謝する
- 次の世代を思い、知恵を伝え、育てる



次の世代の育成

子どもを産み育てる、これまでの体験を通して得た知恵を次の世代に伝え、支え、励ます

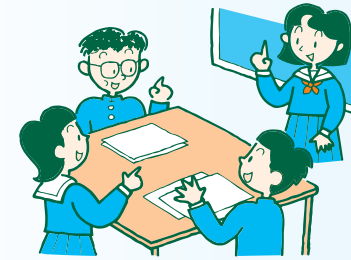
次世代へ…

社会における役割の自覚・生きがい・感謝

自分らしさを生かして、人の役に立つ喜びを知る、支えられていることに感謝する

協働体験・自己有用感

目的に向かって、お互いに支え合い、生かし合う中で、自他のよさを実感する



大切なことは……

- 家庭・学校・地域が力を合わせることで。
- 県民みんなで考え、進めていくことです。

善悪の判断、基本的生活習慣、耐性

してはいけないこと、しなければならないことがある

自然体験・実感

自然の素晴らしさ、怖さ、育てる喜びを感じる

多様性の認識

ちがっていて当たり前、ちがいがあるからこそ支え合う意味がある

安心感・信頼感

自分は愛されている大切にされている

高等学校

社会へ…

つながり・生きる実感と喜び

中学校

小学校

乳幼児期

「いのちの教育」の三つの柱

- ① 自分を大切に思える気持ち(自尊感情)を育てる
- ② 「いのち」のつながりと多様性に気づかせる
- ③ 「いのちの尊さ」と人間としての「生き方」をしっかりと教える

人間関係、自然・社会体験の広がり

自尊感情の高まり

